

統計の重点的・戦略的整備(財政統計)  
論点メモ

岩本 康志  
東京大学大学院経済学研究科

2008年3月5日

# 財政統計の戦略的重要性と現在の問題

## 戦略的重要性

- 国民経済計算, GFS (Government Finance Statistics) は経済財政運営の重要な指標として利用される。
- その主たる利点は, 経済と財政を統合的にとらえることが可能, 国際比較が可能なことにある。

## 現在の問題

- IMF, OECD/Eurostatからの質問票の回答に空白が多い。
- 会計(一次統計)との連携が十分ではない。
- 推計精度の改善が必要である。
  - 公的部門はほぼ全制度単位の発生主義での財務報告が把握可能なので, 財政統計とのインターフェイスを整備することで, 精度の高い推計をすることが本来は可能なはずである。

# (1) GFSを整備すべきである

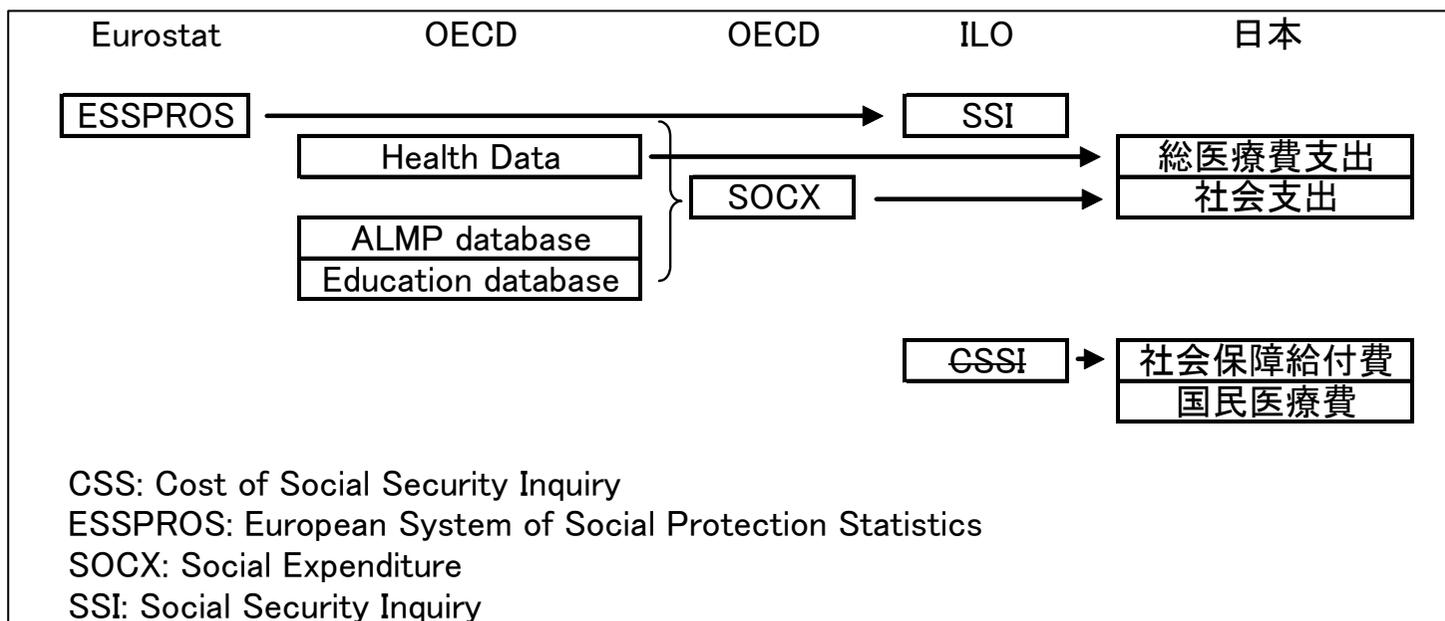
- GFSは、公会計と国民経済計算をつなぐ重要な統計である。
- 会計 → GFS → 国民経済計算  
の流れでデータを作成するように、GFSの整備を図るべきである。
- 中央政府＝財務省，地方政府＝総務省，一般政府＝内閣府の分散体制は機能しない。作成部局を一元化すべきである。

	Budget	Financial reporting	Statistical reporting
Cash basis	予算	IPSAS	GFS
Accrual basis		省庁別財務書類, 他 IPSAS	GFS SNA

GFS: Government Finance Statistics  
IPSAS: International Public Sector Accounting Standard  
SNA: System of National Accounts

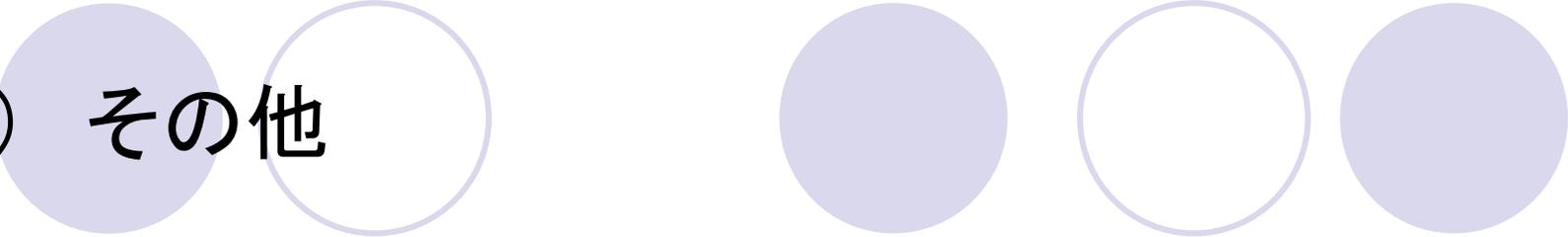
## (2) 社会保障財政統計の再編・整備が必要である

- 社会保障給付費, 国民経済計算(付表8, 9)に代わって, 社会支出(OECD基準), ESSPROSを基幹となる社会保障費統計として, 関係する統計を整備し直す必要がある。
- 社会保障給付費(ILO基準)は, ILOの社会保障費調査が断絶しており, 今では国際比較が不可能である。ILOの新しい調査は, ESSPROS, GFSに準拠しておこなわれている。
- 国民医療費に代わって, SHA(System of Health Account)を基幹となる医療費統計と位置づけ, 関係する統計を整備し直す必要がある。



### (3) 会計, 統計, SNA/GFSとの調和を進めるべきである

- 会計(一次統計)とSNA/GFSとのインターフェイスを整備する。
- 下記の基礎的資料でカバーできていない項目について, 可能なものは基礎的資料に表章する。
  - 国 決算参照書, 財務書類
  - 独立行政法人等 財務書類
  - 地方 地方財政統計, 財務書類
- 集計に時間のかかっている, 地方財政のデータ収集を改善する。
- ICTの活用(XBLM等)を図る。
- 一般政府の決算書類の項目に, SNA/ESA, COFOG, GFS, OECD tax code, SOCX, ESSPROS, SHA等のコーディングを整備する。



## (4) その他

- 推計手順について公表されている情報が少ないため、国民経済計算の項目が会計の何に対応しているかがわからないことが多い。ユーザの誤解や誤用を招く原因となる。ドキュメントの整備が必要である。
- 国際基準では、財務報告と財政統計の調和が議論されており、わが国でもその動向を踏まえる必要がある。
- 会計基準、統計基準の整合性を保つように、縦割りではなく、連動した関係組織の運営が必要である。
- SNAの公的部門の課題については、旧国民経済計算調査会議・公的部門に関する検討委員会で示された「公的部門推計改善のための工程表(素案)」に沿って、具体的な作業を加速化していくべきである。